

お茶の水地理学会活動報告 (2014年度)

2014年度のお茶の水地理学会の活動は、下記の通りです。

1. 4月23日(水) 会報『harmonie』65号発行, 発送
2. 5月17日(土) 代表幹事会 参加者6名
3. 5月31日(土) 学年幹事会 参加者14名
総会 参加者19名
講演会 参加者29名
懇親会 参加者21名

*講演会

講師: 山下 恵会員(東京農工大学 女性未来育成機構
大学院農学研究院 講師 44回生)

演題: 「『はかる』ことの面白さ～空間情報学との出会い～」

1991年本学地理学科入学。学部3年時のアルバイト先で衛星画像を初めて目にした時、この技術を使った仕事をしたいと強く感じる。その後、学部4年を目前に1年間休学し趣味のツーリングと放浪の旅を満喫。復学後、就活らしい活動もせぬまま、1996年卒業後も1年研究生として本学に籍を置くことに。1997年パスコ・インターナショナルに就職。念願だった衛星リモートセンシングとGISによる途上国の各種主題図作成に従事するが、当時の民間での技術職として限界を感じる。奇しくも1999年、JST/CRESTの熱帯林での研究プロジェクトに参画する機会を得、京都へ。以降、空間情報技術の魅力にひきこまれる。2004年から約9年間は近畿測量専門学校教員として教育と研究活動を続け、2012年博士号(工学)を取得。

*卒論優秀賞

受賞者: 松本江利奈会員(62回生)

受賞論文: 「コミュニティサイクルの利用特性と都市交通における役割に関する研究ー東京都世田谷区の

「がやリン」を事例にー」要旨配布

4. 9月13日(土)・14日(日) エクスカーション
テーマ: 大阪の不思議世界～近郊の民間信仰エリア「石切」とインナーシティ「大阪のオキナワ」大正区
案内者: 内田忠賢氏(元・本学助教授, 現・奈良女子大学教授・学長補佐)
9月13日(土) 午後 近郊の民間信仰エリア「石切」
参加者33名(当学会19名, 明日香13名, 内田教授)
懇親会27名(当学会15名, 明日香10名, 教授2名)
9月14日(日) 11～16時 インナーシティ「大阪のオキナワ」大正区
参加者44名(当学会21名, 明日香6名, 学生1名, 内田教授)

※明日香とは、奈良女子大学地理学科卒業生同窓会です。

5. 10月29日(水) 学会誌『お茶の水地理』53号, 会報『harmonie』64号発行, 発送
6. 12月13日(土) 学年幹事会 参加者17名
講演会 参加者51名
懇親会 参加者13名

*講演会

講師: 藤原葉子氏(本学大学院 人間文化創成科学研究科教授)

演題: 「サプリメントとの上手なつきあい方」

講演はお茶の水学術事業会との共催。会員のほかに、大学HPより応募の学生、事業会会員、桜蔭会会員、および「毎日新聞社」「東京新聞社」「文京区報」などの広報による参加者が集まった。講演要旨は本誌掲載。

(お茶の水地理学会事務局 土屋 久美)